



祝日は国旗を掲げましょう。

皇紀2681年  
一睦月一  
1月号

発行所  
生長の家両丹道場  
舞鶴市字北吸497番地  
TEL (0773) 62-1443  
FAX (0773) 63-7861  
白鳩会 (0773) 63-5080  
発行人 伊藤 夏樹  
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、  
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！  
◎ 第一線で「ネットフォーラム」を活発に開催して、壮年層会  
員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



生長の家白鳩会総裁 山口純子先生  
生長の家総裁 谷口雅宣先生

### 幸福とは自然を愛すること（二〇二一年新年の挨拶）

生長の家総裁 谷口 雅宣

全世界の生長の家の信徒の皆さん、新年おめでとうございませう。

私たちは二〇二一年、令和三年という新しい年を迎えました。新年を迎えて喜びの言葉を交わす習慣は、世界中で当たり前のようになっていると思いますが、本年はその「当たり前」の新年を迎えることができる人が、例年より少ないことを悲しく思います。しかし、それでも新年の到来は、私たちにとつて希望と前進と活力を与えてくれます。日時計主義を生きる私たちにとつては、そのことはなおさらです。新型コロナウィルスによる感染症の蔓延の中でも、私たちはこの年を積極的に受け止め、希望を胸に抱いて前へ進む生き方を放棄することはありません。

今から七十六年前、日本が第二次大戦で敗れ、国土が一面の焦土と化した時でさえ、私たちは過去に過ちがあればそれを正し、神の御心を体して明るく前進したことを忘れてはいけません。生長の家創始者・谷口雅春先生はこの時、私たちが敵を作つて戦う生き方をやめ、人類全体を「神の子」として拝みながら、明るく生きる方法を伝えることに全力を尽くすべきだと説かれたのでした。

昭和二十年、一九四五年十一月号の月刊誌のご文章から引用します

今後の教化方針は「天地一切に和解」「従つて天下無敵」（敵あつて「勝つ」と云うのは本来の生長の家の教ではない、戦争無の哲学が生長の家の哲学である）を説き、今後の日本の運命も、苦難が来る荆棘（けいきよく）の道だなどと「言葉」で云っていると「言葉は種子」であり苦難が来るから、吾々は今後日本国民に明るく生きる方法を教えるのに全力を尽くさねばならぬのです。吾等は対立国家としての日本ビイキ的なことを説かず、世界人類は「神の子」として説き、特に『人生は心で支配せよ』『新百事如意』を中心に説いて行けば好いのであります。

この引用の最後に出てきたのは、二冊の本の名前です。これらは、いずれもアメリカで生まれたニューソート系の光明思想家の著書に触発されて、大戦以前に、雅春先生が翻訳あるいはライトされたものです。生長の家はこのように、すでに戦前から、グローバルな視点を持ち、普遍的な価値を説く宗教運動でした。だから私たちは、現在もこの伝統を受け継ぎ、狭い国家主義、国益主義を超えて、人類最大の課題となっている自然破壊と地球温暖化の抑制に全力で取り組んでいるところです。

今回の世界規模の感染症の拡大で、私たちは多くのことを学んでいます。その重要な一つは、「自然を侮るなかれ」ということです。目に見えない半生物のウィルスのおかげで、世界では一年もたたないうちに一五〇万人を超える人々が死に至り、世界経済は劇的に縮小し、国際関係は不安定となり、そのおかげで職を失った人々が大量の流民となつて地上をさまよっています。この感染症の原因は何でしたか？

専門家の分析によれば、中国内陸部の野生動物取引市場で、人間と野生動物とが濃厚接触したことが、その原因です。コウモリの体内に潜むウィルスが、今回のパンデミックを引き起こしたウィルスと遺伝子型が酷似しているといわれています。そのウィルスが、センザンコウなどの小動物が中間宿主となつて、人間社会に取り込まれてしまったようです。またその後、デンマークでは、やはり同じ小動物のミンクから、人に感染したコロナウィルスの変異種が発見され、それが開発中のワクチンの効力を弱めるのではないかととして、大問題になりました。つまりウィルスは、変異しながら人間と他の動物の間を行き来しているのです。

これらの事実は何を教えているのでしょうか？ それは、人間は自然界の一部だということです。哺乳動物としての人間は、他の哺乳動物とそれほど変わらないのです。また、自然界は人間のためだけにあるのではないということです。にもかかわらず、人間が自然界を破壊しながら本来、近づきべきでない領域にまで欲望の手を伸ばし、その一部を自己目的のためにだけに改変したり、利用する行為を続けて

いれば、自然界のこれまでの秩序は崩れ、その秩序によって保障されていた私たち人類の生活も破壊されるのです。この因果関係は、現下喫緊の問題である地球温暖化と全く同じだと言わねばなりません。

つまり、新型コロナウイルス感染症も地球温暖化も、天罰や神罰ではなく、私たち人類のこれまでの考えと行動によって引き起こされたものなのです。仏教では、こういうことを「自業自得」と表現します。

この仏教用語は、近代以降の人類の足跡を痛烈に批判しています。その反面、私たちに問題解決の道を示してくれています。なぜなら、「自業自得」とは、人間が起こした誤りは、人間によって正せるという意味だからです。私たちが自然界の過度の破壊をやめ、自然が本来の活力を取り戻すように私たちの生き方を変えれば、人類はこの自業自得から脱却できるでしょう。生長の家は今、そのような生き方を信仰の情熱をもって推し進めています。大都会・東京から標高一三〇〇Mの八ヶ岳南麓に国際本部を移し、二酸化炭素を排出しない業務を実現し、自然破壊の大きな原因である肉食から遠ざかり、資源の無駄遣いをやめ、日用品を手づくりし、無農薬・無化学肥料栽培を実践し、自動車の利用よりも自転車の利用を行う中で、自分が自然の一部であることを実感し、その実感の中に人間の幸福があることを体験する——これを理論だけではなく、日常生活の中で、省力化に走るのではなく、私たちが自分の体を積極的に使いつつながら、自然との切実な一体感を得る生き方こそ、現代に必要な信仰生活だと私たちは考えています。

もし私たちが創造者としての神を信するならば、これ以上、自然破壊を続けることはできません。なぜなら、神は人間を創造されただけではなく、自然界全体を創造されたのですから、私たちは神の創造を自己目的のために破壊することはできません。私たち人間は、他者の喜びを見て幸福を感じます。それと同じように、私たち人類は自然を愛する生き方の中に幸福を見出すのです。なぜなら、個人はバラバラで無関係な存在ではないように、人間は自然から分離することはできないからです。そして、それらすべては神の作品であり、神の一部であるからです。

私たちはこれからも、「神・自然・人間は本来一体である」とのメッセージとそれに基づく生活法を、広く世界にひろめてまいります。皆さま、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

### 新春の喜びを申し上げます

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

令和三年、神様に祝福された輝かしい年がやってきました。今このことを、はつきり宣言したいと思えます。確かに昨年は予期せぬ不自由を強いられ、今はその難しい課題を引き継いだ新年のはじめかもしれません。しかし、「難儀は節、節から芽が出る」といわれるように、私たちはこの困難から芽を出して、本当に「お芽出たい」一年とすることができると信じています。

かつて新聞で紹介されたインゲンの実験の話をしましょう。それは三つの育て方を比較したというもの。まずAはつるを自然のままの右巻きに、Bは引つ張ってまっすぐに、Cは強制的に反対の左巻きにして育てた。その後、収穫したサヤを数えると、そのままのAに比べてBは一・五倍に、そして最も不自由と思われるCは収穫量が二倍にもなったといえます。困難の中でCのインゲンには、普段を倍する、より一層の生命力が湧き出たのです。

生長の家では昨年「ネットフォーラム」が始まりました。使いたないスマホやパソコンによる「ネットフォーラム」は、人によっては最初困難に感じるかもしれません。しかしこれもインゲン同様、私たち内在の力を引き出し、喜びを二倍三倍に大きく広げてくれること確実です。

今年の干支は丑。古くから農業などで人間を助けてきた牛の特徴は「粘り強さと誠実」。そして牛を使った例え「牛の歩みも千里」とは、努力を怠らなければ必ず成果があることを意味します。私たちもこの状況で迎えた丑年の新年は、だからこそ粘り強く誠実に努力を重ね、この困難にみえる課題のなか、本年の信仰運動の成果を二倍増、三倍増にしていこうではありませんか。

## ～ 地方講師会だより ～

新年明けましておめでとうございます。地方講師・光明委実践委員の皆様には、輝かしく新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

去る十一月二十九日(日) 十時～十時四十五分、ZOOM使用の研修会を開催致しました。参加者は三十六名でした。講師の皆様方もインターネット活用に慣れて頂き積極的に研修会へ参加されて研修を受ける方も増えていきますことを心より感謝いたします。

研修内容は伊藤夏樹教化部長ご指導のもと、機関誌『生長の家』十一月号、『光明法語』三〇六頁、十二月十五日の法語「人を救して眠ること、「新しい文明を築こう」(中巻)一〇二～一〇三頁を勉強させて頂きました。

令和三年一月度地方講師・光明実践委員ZOOM使用の研修会のご案内  
日 時：令和三年一月二十四日(日) 十時～十時五〇分

五〇分

テキスト…会員必携書『新しい文明を築こう』上巻(基礎編)中巻(実践編)『生長の家』機関誌当月号。普及誌三誌No.131

※令和二年度の活動報告書は出講されていなくても十二月分で締め切りとなります。ご提出がまだの方は一月十日までに提出して下さいますようお願いいたします。

再拝



# 令和3年度新年を迎えて各組織長よりご挨拶

相愛会教区連合会長

近藤 保男



新年あけましておめでとうございます。新春を寿ぎ謹んでお慶び申し上げます。

昨年一月より今をもって終息しない新型コロナウイルスにより、多くの生長の家の行事が対面式ではなく、「ネットフォーラム」方式で行われています。それには、パソコンやスマホを活用しなくてはならない等、今までやってきた慣習ではやっていけない方向にきています。本部ではそのような信徒の皆様にも、講話ビデオを作成し、それを地域で利用して質の向上にと計画されています。

さて本年度の運動方針は、前年度の流れを引き継いで「新しい文明」の基礎を作るための二〇二二年度運動方針を掲げ、「新しい文明」構築のための運動基盤の転換、「新しい文明」構築のためのライフスタイルの拡大と地球社会への貢献」という二つの柱の下で同方針が進められます。私たち相愛会員は、「三正行」の実践、「日時計主義」の活用、「PBS」活動に参加して、自然の恵みに感謝する倫理的な生活をして行きましよう。感謝合掌

白鳩会教区連合会長

塩見 富子



明けましておめでとうございます。

昨年は今までにない新しい転換の年となり、誌友会などの対面による活動から、菜園やクラフトなど御教え実践のPBS活動に加えて、新しくインターネットを利用した「ネットフォーラム」による研修や会議に取り組むことになりました。無限力を発揮して新しいことに挑戦するすばらしい機会を与えられ、私たちは力をあわせて運動を前進させてまいりました。会員の皆様にはご協力いただきましたこと心より感謝申し上げます。

本年も生長の家総裁・谷口雅宣先生、白鳩会総裁・谷口純子先生のご指導のもと、真理を基本に置いて生長の家の神の使いとして「新しい文明」構築に向けた運動に真心込めて邁進させていただきます。皆様どうぞよろしくお祈り致します。本年も皆様にとつて素晴らしい年でありましようお祈り申し上げます。感謝合掌

地方講師会長

馬場 和枝



新年あけましておめでとうございます。二〇二二年を皆様と共につつがなく迎えられることができましたことを心よりお慶び申し上げます。

昨年は、大きな転機があった年でした。一日研修会を始め、地方講師会の役員会、教区・各組織の各種行事もズームやフェイスブック等を使ったネットフォーラム形式になりました。最初は戸惑う事もありましたが、会員の皆様のご協力により、新しいことを学び、向上する絶好の機会とすることができました。心より感謝申し上げます。

本年も生長の家総裁・谷口雅宣先生、白鳩会総裁・谷口純子先生のご指導のもと、各組織の皆様と協力し、「新しい文明」構築を可能にする倫理的な生活を一人でも多くの方に伝えて参りたいと決意を新たにしております。地方講師・光明実践委員並びに信徒の皆様のご多幸を祈念し、新年の挨拶と変えさせて頂きます。感謝合掌

生教会会長

千賀 小春



新年あけましておめでとうございます。

日頃は、伊藤夏樹教化部長をはじめ、皆様には生教会にご理解とご支援を頂きありがとうございます。昨年は、思いもよらない事態により生命学園は残念ながら開催されませんでした。

令和二年三月三十一日をもって大槻紀子講師が生命学園園長を退任されました。まごころいっぱい、熱気あふれる運営をいただき感謝申し上げます。

一日でも早く生命学園が開催されますことを祈念しております。本年もよろしくお祈り申し上げます。



「青年会便り」

教区青年会事務局長 渡利あすか

新年あけましておめでとうございます。昨年是世界全体で大変な事態に見舞われた一年でしたが、その一方で新しい生活様式について世界規模で考えるきっかけになったのではないかと思います。特に「おうち時間」と称して長く自宅にいる機会が多かった間、動画サイトやSNSなどでは手作りの料理、クラフト、リメイクやDIYなどを紹介する人々の活動が目覚ましかったという印象があります。

これらはまさに生長の家が長年取り組んできたことです。今、世界の人が求められている生き方を私達は率先して行なってきたのだという誇りと共に、新しい年、新しい生き方の世界を共に歩んでまいりたいと決意を新たにいたします。

令和3年版

## ひかりの言葉

監修=谷口 雅宣 (生長の家総裁)  
写真=谷口清超 揮毫=村上秀竹

『ひかりの言葉』はどんな時にも物事の明るい面に向け、希望をもって日々を生きる「日時計主義の生き方」を1カ月・31日分の言葉で伝える壁掛け式の日めくり暦です。毎朝、その日の言葉を読むだけのわずかな時間で、生長の家の説く真理のエッセンスを学ぶことができ、心が明るくなると好評です。



# 令和3年1月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	曜
	五者会議【ネットフォーラム】	〔道場休館日〕	先祖供養祭（10時）【ライブ配信】		●（祝）成人の日〔道場休館日〕				〔道場休館日〕	新年総集会（10時）【ライブ配信】	仕事始め 聖使命感謝奉納祭	〔道場休館日〕	〔道場休館日〕	〔道場休館日〕	〔道場休館日〕	本部・教化部行事
																教化部長
近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	休み	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	休み	休み	休み	休み	早朝行事担当

☆五者会議、講師会一日研修会、（白）組織会議はネットフォーラムを予定しております。また、新年総集会、先祖供養祭、住吉神社月次祭はフェイスブックで会員へライブ動画を配信しておりますので、活用ください。

31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17
日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日
			〔道場休館日〕			（白）総連会長・対策部長担当会議（13時30分）【ネットフォーラム】	（講）地方講師・光栄一日研修会（10時）及び同役員会・（10時50分）【ネットフォーラム】		普及誌仕分け日	〔道場休館日〕	（白）正副会長会議（10時）【ネットフォーラム】		住吉神社月次祭（10時）【ライブ配信】	（相）正副・地区連会長会議（10時）
富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永

- ☆お賽銭ありがとうございます  
14,726 円
- ☆生物多様性募金ありがとうございます。  
2,100 円
- ☆浄心行奉納金ありがとうございます。  
11,500 円



### 新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について

日本国内及び全世界ではいまだ感染者が後を絶たない状況続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。